

りんごを守るために ～鳥害対策の現状とこれから～

実態を把握し、科学的な対策で、持続可能なりんご産地を

守りたい
このまちのりんご
未来につなぐ



現状・課題

鳥害による農作物被害が継続・再増加

- 県全体でカラス・ヒヨドリ・ムクドリによる被害が継続し、近年は再び増加傾向
- 平川市でも、りんごをはじめ農産物への被害について、多くの農家から声



一般質問での主な論点



- 被害の実態把握**
(被害額・面積・地域・作物・鳥種ごとの傾向)
- 被害増加の要因**
(気候変動・耕作放棄地・環境変化などの影響)
- 現在の対策と支援**
(捕獲計画・追い払い活動・ICT活用・機材整備の状況と効果)
- 今後の取り組み**
(弘前市との連携・科学的調査・地域で支える仕組みづくり)

市の主な答弁

被害の実態把握について

- 農家からの正式な被害報告がないため、被害額や被害面積を把握できていない
- そのため、鳥獣被害防止計画にも記載していない



被害増加の要因について

- 耕作放棄地の増加や管理不足により、鳥の餌場となっている
- 温暖化による生息環境の変化で、行動範囲が拡大している
- 鳥種ごとの行動特性や被害時期の分析が重要

現在の対策・支援について

- 市独自の支援制度はない
- 追い払い活動は、現在市としては実施していない
- ドローンやセンサーカメラは、クマ・イノシシ対策で使用。鳥害には未実施



今後の取り組みについて

- 弘前市の取組状況を注視し、情報共有を図る
- 近隣自治体や関係機関との連携は重要と認識
- 必要に応じて広域的な調査・分析を検討していく

明らかになった主な課題

被害の実態が
把握できていない



科学的な分析・
データが不足



対策や支援が
十分ではない



市単独の対応に
限界がある



求めたこと・提案

- ✓ 被害実態の調査体制の整備
- ✓ 鳥種ごとの科学的な分析
- ✓ 弘前市などとの広域連携・共同調査
- ✓ ICT活用や地域ぐるみの対策
- ✓ 農家の負担を軽減する支援の充実

りんご産地の
維持・発展のために



今後に向けて

実態把握から、効果的な鳥害対策へ

りんごは平川市の基幹産業です。農家の所得と地域経済を守るため、実態把握と科学的根拠に基づく鳥害対策の強化を引き続き求めていきます。

未来へつなぐ
平川のりんご

